

---

# 2011年度 第2四半期決算説明会

---

2011年11月4日



三菱ガス化学株式会社

# 本日の出席者

---

取締役社長

酒井 和夫

天然ガス系化学品カンパニープレジデント

山崎 慶重

特殊機能材カンパニープレジデント

宮内 雄

機能化学品カンパニープレジデント

倉井 敏磨

芳香族化学品カンパニープレジデント

酒井 幸男

財務経理センター長

杉田 克彦

# 目次

1 . 第2四半期決算概要 .....	P 4
2 . セグメント別の決算概要と下期の見通し ...	P 9
3 . 通期予想 .....	P 18
4 . 次期中期経営計画策定に向けて .....	P 20
5 . 参考資料 .....	P 21

# 連結 2011年度 第2四半期実績

【単位：億円】

	2011年度 第2四半期累計	2010年度 第2四半期累計	増減	増減率
売上高	2,300	2,270	30	1.3%
営業利益	75	126	51	40.6%
(持分法利益)	(104)	(77)	(26)	34.2%
経常利益	162	172	10	6.2%
税前利益	140	82	58	70.8%
四半期純利益	121	63	57	89.4%

1株当たり 四半期純利益	26.7円/株	14.1円/株	12.6円/株
中間配当金	6.0円/株	4.0円/株	2.0円/株

- 販売数量は、メタノールの仕入販売は増加したが、被災した鹿島工場製品や半導体・液晶向け一部製品が減少。
- 販売価格は、機能製品の価格は弱含みで推移したが、メタノール、アンモニアや高純度イソフタル酸などが上昇。結果、売上高は微増。
- 営業利益は、液晶向け一部製品の販売不振と円高の影響が主要因となり、51億円減益。
- 持分法利益は、海外メタノール生産会社を中心として、26億円の増益。
- 特別損益は、投資有価証券評価損など26億円の特別損失を計上したが、前年同期比で68億円改善。
- 中間配当金は6円/株。  
(前年同期比2円/株増配)

本頁以下に記載されている数値は、単位未満切捨てで表記しております。

# セグメント別 連結 2011年度 第2四半期実績



【単位:億円】

	2011年度		
	上期	1Q	2Q
<b>売上高</b>	2,300	1,153	1,147
天然ガス系化学品	777	417	360
芳香族化学品	684	322	361
機能化学品	602	287	314
特殊機能材	282	150	131
その他	4	1	2
消去または全社	49	26	22
<b>営業利益</b>	75	55	19
天然ガス系化学品	4	6	2
芳香族化学品	7	6	1
機能化学品	37	24	12
特殊機能材	34	21	12
その他	2	0	1
消去または全社	10	4	6
<b>(参考)</b>			
<b>持分法利益</b>	104	50	53

- エンジニアリングプラスチック、電子材料事業の営業利益が、第1四半期から第2四半期にかけて悪化。鹿島工場やエレクトロテクノは、第1四半期中に早期復旧を果たすも、震災影響による需要低迷の長期化、液晶向け一部製品の更なる販売減、半導体パッケージ材料の夏場以降の調整などが主たる要因。
- メタノール・アンモニア系化学品、芳香族化学品についても、円高の急速な進行や海外需要の減速、原料価格の高騰などにより、営業利益が悪化。

# 連結 2011年度 第2四半期 営業外損益・特別損益

【単位：億円】

	2011年度 第2四半期累計	2010年度 第2四半期累計	増減
<b>営業外損益</b>	<b>87</b>	<b>46</b>	<b>40</b>
持分法投資損益	104	77	26
金融収支	0	2	3
為替差損	5	18	12
その他	11	9	2

▶ 持分法利益は、海外メタノール生産会社を中心として、26億円の増益。

<b>特別利益</b>	<b>4</b>	<b>-</b>	<b>4</b>
受取保険金	4	-	4
<b>特別損失</b>	<b>26</b>	<b>90</b>	<b>64</b>
投資有価証券評価損	15	64	48
災害による損失	5	-	5
環境改善対策費用	4	2	1
減損損失	0	5	5
資産除去債務会計の基準適用に伴う影響額	-	17	17

▶ 特別利益は、東日本大震災の損害に対する保険金の一部4億円を計上。

▶ 特別損失は、投資有価証券評価損として15億円、災害損失として5億円を計上。  
(2010年度の災害による損失計上額は30億円)

(注) 本表の増減は対損益増減を示しております。

# 連結 2011年度 第2四半期 貸借対照表



【単位:億円】

	2011年9月末	2011年3月末	増減	メモ
<b>流動資産</b>	<b>2,319</b>	<b>2,445</b>	<b>125</b>	
現預金	241	479	237	社債(200億円)の償還など
売掛債権	1,111	1,120	9	
棚卸資産	769	682	87	
その他	196	163	33	
<b>固定資産</b>	<b>3,441</b>	<b>3,325</b>	<b>116</b>	
有形・無形固定資産	1,893	1,810	83	← 設備投資:225億円、減価償却: 134億円、 除却など: 8億円
投資有価証券	1,294	1,310	15	保有上場株式の時価下落など
その他の資産	253	204	49	
<b>資産合計</b>	<b>5,761</b>	<b>5,770</b>	<b>9</b>	
<b>負債</b>	<b>2,793</b>	<b>2,887</b>	<b>94</b>	
買掛債務	680	601	79	
有利子負債	1,662	1,826	164	社債(200億円)の償還など
その他	450	460	9	
<b>純資産</b>	<b>2,969</b>	<b>2,883</b>	<b>86</b>	
株主資本	3,171	3,062	109	自己資本比率 2011年9月末 49.7% 2011年3月末 48.2%
その他の包括利益累計額	305	281	24	保有上場株式の時価下落による その他有価証券評価差額金の減少など
少数株主持分	102	101	1	
<b>負債・資本合計</b>	<b>5,761</b>	<b>5,770</b>	<b>9</b>	

# 連結 2011年度 第2四半期 キャッシュフロー計算書

	2011年度 第2四半期累計期間	2010年度 第2四半期累計期間	増減
<b>営業キャッシュフロー</b>	<b>239</b>	<b>216</b>	<b>23</b>
税前利益	140	82	58
減価償却費	134	138	3
持分法投資損益	104	77	26
持分法適用会社からの配当金受取額	77	38	39
運転資金等	12	49	37
法人税等支払額	20	13	6
<b>投資キャッシュフロー</b>	<b>202</b>	<b>131</b>	<b>70</b>
設備資金	198	115	83
投融資資金等	3	16	12
<b>財務キャッシュフロー</b>	<b>227</b>	<b>11</b>	<b>216</b>
借入金・社債増減等	204	10	215
配当金支払	23	22	1
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>9</b>	<b>5</b>	<b>14</b>
<b>現金及び現金同等物の増減</b>	<b>200</b>	<b>78</b>	<b>279</b>
<b>現金及び現金同等物の期首残高</b>	<b>467</b>	<b>360</b>	<b>107</b>
<b>連結追加・合併による増加額</b>	<b>0</b>	<b>4</b>	<b>4</b>
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>	<b>267</b>	<b>444</b>	<b>176</b>

【単位：億円】



# 天然ガス系化学品

	2011年度(実績・予想)			2010年度(実績)			増減		
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	777	773	1,551	722	794	1,516	54	20	34
営業利益	4	3	8	5	18	13	9	15	5

【単位:億円】

## 2011年度 上期(実績)

### ➤ メタノール

市況が高水準で推移(アジアスポット平均価格:\$283 \$349)し、ブルネイ・ベネズエラの新規プラントが、当期は期初から寄与したことによる販売数量の増加もあり増収。

### ➤ メタノール・アンモニア系化学品

アンモニアやMMAの収益は、市況が上昇したことから前年同期を上回ったが、ネオペンチルグリコールの採算悪化などにより、損益は前年同期並みにとどまる。

### ➤ 酵素・補酵素類

コエンザイムQ10の販売数量が低調で、収益は前年同期を下回る。

### ➤ エネルギー販売

原油販売価格の上昇により増益。

## 2011年度 下期(予想)

上期に引き続き市況が高水準で推移(アジアスポット平均価格:\$349 \$360)し、増収の見込み。

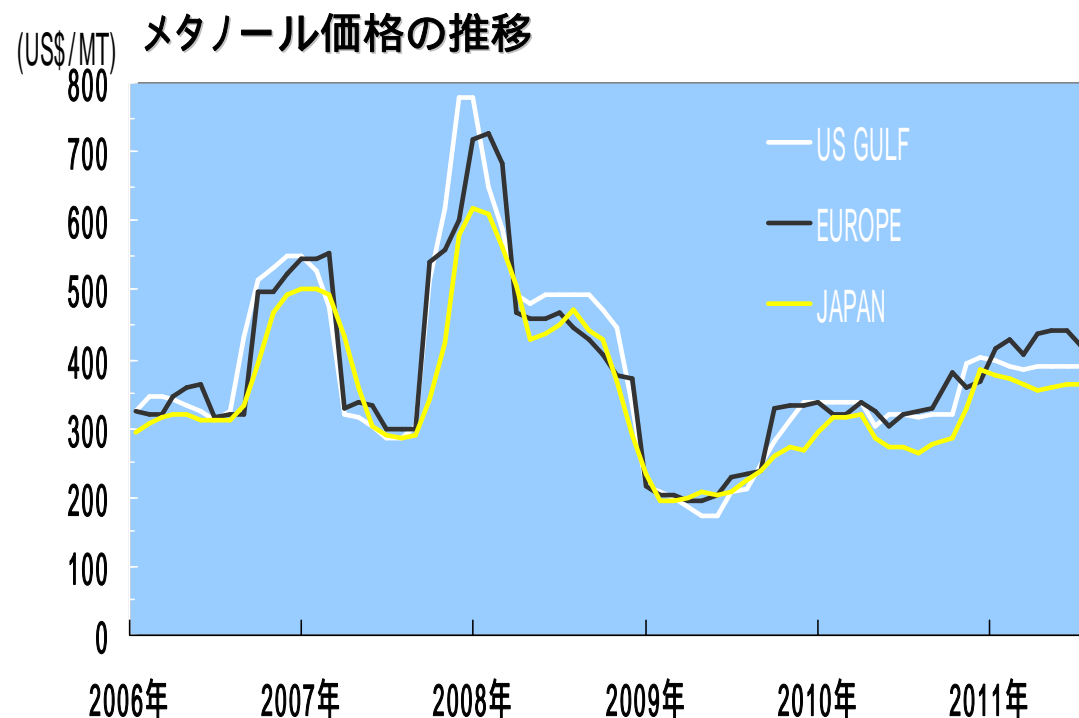
アンモニア市況は高水準を維持するが、MMAやネオペンチルグリコールなどは中国を中心とした海外需要の減少が見込まれる。損益は上期並みの想定。

コエンザイムQ10の販売数量拡大に注力し、収益改善を目指す。

探鉱費の増加などにより、減益を見込む。

# 天然ガス系化学品

## メタノール価格の推移、持分法利益の動向



### 持分法利益の動向

#### 2011年度 上期(実績)

需要は、中国の燃料用途や既存の化学品用途を含め、世界全体で堅調に増加。

供給は、各地の大型プラントのトラブルが続き稼働が不安定。

市況が高水準で推移し、海外メタノール生産会社の持分法利益は前年同期比で増加。

#### 2011年度 下期(予想)

上期に引き続き市況が高水準で推移し、持分法利益は上期並みの見込み。

(2011年下期以降の見通し)

当面、新規の大型プラント建設の予定がなく、中国の石炭原料プラントが市況の上下に応じて稼働と停止を繰り返す。アジアスポット平均価格は、350～400ドルの範囲で推移すると想定。

# 天然ガス系化学品 設備投資・製品開発動向

件名	動向
新規製品	<p>SPG-PET「ALTESTER®」:耐熱透明ポリエステル樹脂 食品・電子部品の包装材料として市場開発を推進 新潟工場に1,800t/yのセミコマーシャルプラントを建設(2012年9月完工予定)</p> <p>ピロロキノリンキノン(PQQ):健康食品素材 米国での本格マーケティング中 市場の反応を踏まえ、将来の大型設備建設を検討</p> <p>抗体医薬 台湾の抗体医薬品開発ベンチャー(グリコネックス社)と業務提携 抗体製造プロセス開発受託事業(CRO)と治験薬製造受託事業(CMO)に参入</p>

# 芳香族化学品

	2011年度(実績・予想)			2010年度(実績)			増減			【単位:億円】
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期	
売上高	684	691	1,375	554	580	1,134	129	111	240	
営業利益	7	3	10	3	0	2	4	3	8	

## 2011年度 上期(実績)

### ▶特殊芳香族化学品

メタキシレンジアミンの販売数量は前年同期並みだが、原料価格上昇と円高の影響により、減益。

芳香族アルデヒドは、販売数量の増加などで、増収増益。

### ▶高純度イソフタル酸

中国を始めとするアジアのPETボトル向け需要が減少したほか、円高や原料価格上昇の影響もあったが、販売価格が前年同期を上回り、収益は改善。

## 2011年度 下期(予想)

メタキシレンジアミンとMXナイロンは、販売数量拡大と値上げを織り込み、増収増益を見込む。

芳香族アルデヒドは、販売数量が更に増加し、上期を上回る見込み。

中国を中心とした輸出の増加を見込むが、販売価格の下落と原料メタキシレン設備の定修などによる固定費の増加により、上期より採算が悪化する想定。

# 芳香族化学品 設備投資・製品開発動向

件名	動向
メタキシレンジアミン	<p>現行能力 水島工場2万5千t/y 新潟工場3万t/y            2013年に水島工場で5千t/yの増強を計画中            2015年に海外で4万t/yの新設を計画中</p>
新規製品	<p>高耐熱性無色透明ポリイミドフィルム「ネオプリム®」            フレキシブルディスプレイ、液晶パネルのガラス基板代替材料向けなどに市場開発を推進中            2015年度までに商業化(年産20万m<sup>2</sup>)を目指す</p> <p>核水添ポリカルボン酸            LED封止材やディスプレイ部材向けの原料モノマーとして実需化            水島工場にセミコマーシャルプラントを建設中(2012年2月完工予定)</p> <p>耐熱バイオベースポリアミド「LEXTER®」            植物由来(ヒマシ油)のセバシン酸が原料            新潟工場のMXナイロン装置での量産試験完了</p>

## 機能化学品

	2011年度(実績・予想)			2010年度(実績)			増減		
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	602	693	1,295	719	640	1,360	117	52	65
営業利益	37	40	77	85	65	151	48	25	73

【単位:億円】

## 2011年度 上期(実績)

## ➤ 工業用無機薬品

震災による鹿島工場の生産停止や国内需要の減少により、過酸化水素の販売数量が減少し、減収減益。

## ➤ 電子工業用薬品

震災の影響により国内向け超純過酸化水素の販売数量が減少。液晶向けを中心とするハイブリッドケミカルは、前年同期を上回る。海外子会社も堅調に推移。

## ➤ エンジニアリングプラスチック

PCは、震災による鹿島工場の生産停止や国内需要の減少により、減収減益。POMは、海外を中心に好調に推移し、増益。PCシート・フィルムは、フラットパネルディスプレイ向けフィルム需要が大きく減少し、減収減益。

## 2011年度 下期(予想)

過酸化水素は、紙パ向けが低調だが、その他用途で回復の兆しが見られ、上期比で増収増益を見込む。

液晶向けハイブリッドケミカルの国内販売が減少し、上期を下回る。海外子会社は総じて堅調に推移。

PCは、国内需要の回復による販売数量の増加により、増収増益を見込む。POMの販売は堅調に推移するが、海外生産会社の定修による固定費増により、減益の見込み。

PCシート・フィルムは、フラットパネルディスプレイ向けフィルムが低調に推移し、収益は上期を下回る見通し。

なお、タイ洪水のPC・POM生産会社に対する直接被害はないが、需要の動向を注視していく必要がある。

# 機能化学品 設備投資・製品開発動向

件名	動向
電子工業用薬品	海外子会社(米国・韓国・台湾・シンガポール)で、超純過酸化水素の増設工事中 合計95,000t/y増(2011年から2012年にかけて順次営業運転開始予定)
ポリカーボネート	中国 上海 8万t/y 建設中(2012年4月商業運転開始予定) 計画通り年内に完工予定 素材生産、コンパウンド、テクニカルサービスの一貫拠点を構築
ハードコートシート	スマートフォン向けカバーガラス代替用途の新規グレードを市場展開中
ポリアセタール	タイ 4万5千t/y 新設と既存設備増強(2013年2Q商業運転開始予定)

# 特殊機能材

	2011年度(実績・予想)			2010年度(実績)			増減		
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	282	268	551	320	275	595	37	6	43
営業利益	34	29	63	49	27	77	15	2	13

【単位:億円】

## 2011年度 上期(実績)

### ➤ 電子材料

BT材料は、被災した生産子会社エレクトロテクノ(株)の迅速な復旧直後は、一時的に高水準の受注があったが、7月以降の全般的なユーザーの在庫調整や実需不振の影響により、販売数量が減少。また、製造コストの増加による採算悪化などもあり、減収減益。

### ➤ 脱酸素剤

主用途である国内食品分野を中心として堅調に推移したため、前年同期を上回る収益。

## 2011年度 下期(予想)

BT材料は、需要水準の大きな回復は見込めず、販売数量の減少などにより、売上高・損益は上期を下回ると想定。

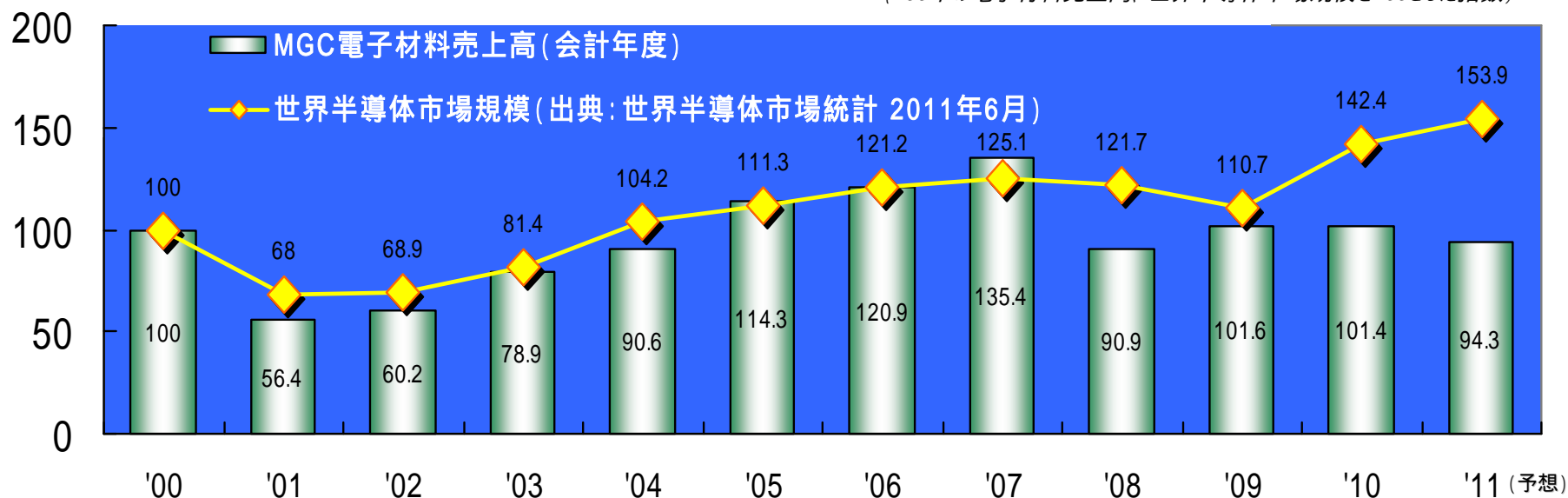
国内外ともに販売数量が堅調に推移し、上期の収益水準を上回る見通し。



# 特殊機能材 電子材料売上高等の推移、事業動向

## 1. 電子材料売上高と世界半導体市場規模の推移

( '00年の電子材料売上高、世界半導体市場規模を100とした指数)



## 2. 事業動向

件名	動向
BT材料	東日本大震災による被災を機に、BT材料生産拠点の分散化を検討中
高性能エポキシ材料	中国企業に生産委託を開始し、中国市場に展開

# セグメント別 連結 2011年度 通期予想

【単位:億円】

	2011年度(実績・予想)			2010年度(実績)			増減		
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期
売上高	2,300	2,399	4,700	2,270	2,239	4,510	30	159	189
天然ガス系化学品	777	773	1,551	722	794	1,516	54	20	34
芳香族化学品	684	691	1,375	554	580	1,134	129	111	240
機能化学品	602	693	1,295	719	640	1,360	117	52	65
特殊機能材	282	268	551	320	275	595	37	6	43
その他	4	3	7	4	4	8	0	0	0
消去または全社	49	31	80	50	54	105	0	23	24
営業利益	75	64	140	126	107	233	51	42	93
天然ガス系化学品	4	3	8	5	18	13	9	15	5
芳香族化学品	7	3	10	3	0	2	4	3	8
機能化学品	37	40	77	85	65	151	48	25	73
特殊機能材	34	29	63	49	27	77	15	2	13
その他	2	0	2	1	1	2	0	0	0
消去または全社	10	12	23	8	5	14	1	7	9

(参考)

持分法利益	104	105	210	77	101	178	26	4	31
-------	-----	-----	-----	----	-----	-----	----	---	----

# 連結 2011年度 通期予想

【単位：億円】

	2011年度 11月予想	2011年度 8月予想	差異	2010年度 通期実績	差異
売上高	4,700	4,800	100	4,510	189
営業利益	140	210	70	233	93
(持分法利益)	(210)	(200)	10	(178)	(31)
経常利益	310	370	60	363	53
税引前利益	290	350	60	239	50
当期純利益	240	270	30	189	50

## 2011年度(8月予想)との差異について

- 円高の長期化、海外需要の減速、原料価格の高騰などが下期にも影響すると想定。
- 化学品のマージン悪化や、エンジニアリングプラスチック、BT材料などの回復の遅れを見込み、前回予想を下回る見込み。

## 2010年度(実績)との差異について

- 営業利益は、大幅減益を余儀なくされるも、持分法利益の増加および特別損失の減少などにより、当期純利益は増加。
- 配当金は、中間・期末とも6円/株で年間12円/株(前期比4円/株増配)を予定。

# 次期中期経営計画策定に向けて



# 【参考資料】セグメント別 連結経常利益

【単位：億円】

	2011年度(実績・予想)			2010年度(実績)			増減		
	上期 (実績)	下期 (予想)	通期 (予想)	上期	下期	通期	上期	下期	通期
経常利益	162	147	310	172	191	363	10	43	53
天然ガス系化学品	81	73	155	37	78	115	44	4	39
芳香族化学品	1	3	1	3	3	7	5	0	5
機能化学品	44	52	96	88	82	171	44	29	74
特殊機能材	33	28	62	49	25	75	15	3	12
その他	9	4	13	9	13	23	0	9	9
消去または全社	9	7	16	9	4	13	0	2	2

2010年度より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)の適用に伴い、四半期短信および四半期報告書のセグメント情報については、経常損益を開示しております。

# 【参考資料】各種指標(1)

## 1. 各種指標推移(連結)

(単位:億円)

	2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 実績	2011年度 実績・予想
設備投資額	175	295	394	351	276	354	420
(うち第2四半期累計)	132	147	160	193	141	146	225
減価償却費	188	注) 198	245	289	295	290	290
(うち第2四半期累計)	94	91	110	135	137	138	134
研究開発費	106	115	136	147	162	164	177
(うち第2四半期累計)	55	58	66	67	74	74	87
人員 (年度末時点)	4,466人	4,561人	4,686人	4,902人	4,920人	4,979人	5,046人
一株当り 当期利益	71.0円	86.6円	87.0円	15.3円	12.9円	41.9円	53.1円
ROA (総資産経常利益率)	9.5%	10.5%	10.2%	1.2%	1.4%	6.5%	5.1%
ROE (自己資本利益率)	14.5%	15.0%	13.7%	2.5%	2.2%	6.9%	8.1%
配当額	10.0円	14.0円	16.0円	16.0円	8.0円	8.0円	12.0円
(うち第2四半期末)	4.0円	6.0円	8.0円	8.0円	4.0円	4.0円	6.0円

注) 2006年度の減価償却費は、特損に計上した88億円を除いた額となっております。

## 2. セグメント別 設備投資額・減価償却額(連結)

(単位:億円)

		2005年度 実績	2006年度 実績	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 実績
設備 投資 額	天然ガス系化学品	26	62	56	107	71	140
	芳香族化学品	47	75	172	106	77	45
	機能化学品	69	87	74	91	81	148
	特殊機能材	32	70	92	47	45	18
	その他	0	0	0	0	1	3
減 価 償 却 費	天然ガス系化学品	45	46	54	64	75	86
	芳香族化学品	36	37	52	77	79	78
	機能化学品	71	80	96	97	86	80
	特殊機能材	35	36	42	51	51	42
	その他	0	0	0	0	4	4

# 【参考資料】各種指標(2)

## 3. 業績前提

	2005年度実績		2006年度実績		2007年度実績		2008年度実績		2009年度実績	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期	上期	下期
メタノール (US \$ /MT)	279	238	276	376	332	398	424	336	195	246
原料キシレン (円/kg)	69	83	99	96	108	103	122	56	72	73
ビスフェノールA (US \$ /MT)	1,200 ~ 2,000	1,000 ~ 1,300	1,200 ~ 1,600	1,600 ~ 1,700	1,800 ~ 2,000	1,800 ~ 2,000	1,800 ~ 2,000	800 ~ 1,500	1,000 ~ 1,300	1,200 ~ 1,700
ポリカーボネート (US \$ /MT)	3,200 ~ 3,300	3,000 ~ 3,300	2,900 ~ 3,100	2,400 ~ 2,750	2,600 ~ 2,850	2,400 ~ 2,850	2,450 ~ 2,850	1,900 ~ 2,450	1,900 ~ 2,400	2,400 ~ 2,900
為替 (円/US \$)	110	117	115	119	119	109	106	95	96	90

	2010年度実績		2011年度		メモ
	上期	下期	上期(実)	下期(想)	
メタノール (US \$ /MT)	283	307	349	360	アジアスポット平均価格(出典:ICIS)
原料キシレン (円/kg)	71	84	96	97	公示価格
ビスフェノールA (US \$ /MT)	1,800 ~ 2,100	2,100 ~ 2,500	2,000 ~ 2,500	2,100 ~ 2,300	主要平均CIF価格
ポリカーボネート (US \$ /MT)	2,450 ~ 2,950	2,400 ~ 2,900	2,800 ~ 3,000	2,800 ~ 3,000	
為替 (円/US \$)	89	82	80	80	

メタノールについては、上期は1-6月、下期は7-12月を示す。

# お問い合わせ先

---

三菱ガス化学株式会社

広報IR部

TEL 03 - 3283 - 5041

<http://www.mgc.co.jp/>

## < 見通しに関する注意事項 >

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。